

はじめに

2025 年『10日間の祈り』へようこそ！ 私たちは、祈りこそがリバイバルの原点であると信じています。この数年、私たちが共に祈りと断食で神様を求める中で、主は本当に多くの奇跡を起こしてくださいました。聖霊は、改心、伝道への新たな情熱、教会の復活、人間関係の癒しなどをもたらしてくださいました。昨年度の証をいくつかご紹介します。

『10 日間の祈り』の間、神様は多くのすばらしい奇跡を起こされました。私たちの教会の近所は、この2年間停電の状態でした。そこで『10 日間の祈り』の間、牧師は電気が復旧するように毎朝祈るように教会員に求めました。今その祈りは答えられています。神に栄光あれ！（P.C.O.）

『10 日間の祈り』では、グループに新たな決意、意欲、熱意、誠実さが見られました。個人的には、信仰を若返らせ、実り豊かな「夜の祈り」のクライマックスではなおさらでした！ 私たちをイエスの足元に近づけるこのようなすばらしいプログラムがもっと必要だと思う。（E.A.）

これまで私は、聖書を読み、祈りに時間を費やすことにそれほど真剣ではありませんでした。『10 日間の祈り』の後、私の祈りに対する態度は大きく変わりました。神に祈り、賛美し、他者のために祈り、聖書を読むことに多くの時間を費やすようになったからです。もともと高血圧症でしたが、今は回復傾向です。全能の神に感謝します。（H.R.）

『10 日間の祈り』では、就職面接を受けた一人の姉妹のために皆で祈りました。ついに彼女は、最高位の資格を持つ人に与えられる仕事に就くことができました。私たちは何年間も苦勞して祈りの答えを待っていましたが、最終的に神様がしてくださったことに驚いています。私たちは何度祈ってきたでしょうか？ 数えきれません。このように信じて祈り続けることは決して無駄になることはありません。（L.B.）

神様の声があなたにもリバイバルを呼びかけていますか？ 聖書には以下のたくさんの約束があります。

「もしわたしの名をもって呼ばれているわたしの民が、ひざまずいて祈り、わたしの顔を求め、悪の道を捨てて立ち帰るなら、わたしは天から耳を傾け、罪を赦し、彼らの大地をいやす。」（歴代誌下 7:14）

「わたしを尋ね求めるならば見いだし、心を尽くしてわたしを求めるなら、わたしに出会うであろう、と主は言われる。」（エレミヤ 29:13、14）

「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。」（黙示録 3:20）

あなたが今、人生のどこにいても、神様はあなたが思っている以上に近くにいらっしゃいます。神様はあなたの家族、あなたの教会や地域社会、そしてあなたの世界に祝福を注ぎたいと願っておられます。

あなたの証を送ってください

2025 年の『10 日間の祈り』を通して、神様がどのように働かれたかを、ぜひお知らせください！ あなたの経験は他の参加者にとっての励ましとなります。証は、下記のメールアドレスまでお送りください。

pm@adventist.jp（信徒伝道部）

わたしたちの祈りのテーマ

だから あなたが祈るときは

今年の『10日間の祈り』の毎日の読物は、Ministry 誌の編集長であるパベル・ゴイア博士によって書かれました。パベルは、自身のミニストリーでのエピソードをもとに、「主の祈り」やその他のイエスの教えについて探求しています。イエスがお語りになったなじみの深い言葉の霊的な意味を解き明かしながら、神の御名を「あがめる」とはどういうことか？ 地上においてどのように神の国を実現するか？ 赦しは私たちと神様との関係をどのように変えるのか？ 神が人間を誘惑されることがあるのか？ など興味深い内容が満載です。

これまであなたが祈りの生活をおくってきたか、あるいはおろそかにしてきたかに関わらず、これらの読物はもう一度、あなたに祈りの必要性和、日々ひざまずいてイエスに祈りたいという願望を呼び覚ますでしょう。毎日聖書をそばに置き、読物を繰り返し読んでください。できれば、『10日間の祈り』の間、一緒に祈ることのできる友人を見つけましょう。二人または三人がイエスの名によって集まるとき、そこには必ず奇跡が起こるからです！

■祈りの時間のガイドライン(指針)

- ◎簡潔な言葉で祈りましょう：一つの課題について簡潔な文章で祈りましょう。そして他の人に機会を譲りましょう。会話と同じように、祈りたいだけ何度祈っても良いのです。
- ◎沈黙のときがあっても構いません。聖霊の声に耳を傾ける機会となります。
- ◎聖霊の導かれるままに賛美歌を歌うことも、大きな祝福となります。この場合、ピアノ伴奏は必要ありません。アカペラで歌いましょう。
- ◎祈りの課題を挙げるために大切な祈りの時間を費やしてしまうより、むしろ、それらの課題について祈りましょう。あなたが祈ったのと同じことについて、さらに他の人が祈っても良いですし、あなたの必要について約束を求めて祈ってもらうこともできます。

■約束を求める

神様はみ言葉を通してたくさんの約束をお与えになりました。それらの約束に基づいて祈ることは、わたしたちの特権です。主のご命令と勧告は、すべて約束です。主は、ご自身の力によってわたしたちが成し得ないことをするように求められることは決してありません。

わたしたちが祈るとき、自らの必要、困難、課題ばかりに目を向け、自分が直面している状況について嘆き訴えることは非常にたやすいことです。しかしこれは、祈りの目的ではありません。祈りは、わたしたちの信仰を強めるものです。神の約束に基づいて祈ることをおすすめする理由はここにあります。

神の約束は、自分自身の弱さではなくキリストに目を向けるための助けとなります。主のみ姿に変えられるのは、主を見上げることによるのです。

「神の御言葉の中にある約束は、すべてわたしたちのためのものです。信仰によって願い求めるならば、あらゆる霊的な祝福を受け取るという神の御言葉は確かな約束です。求め続けるなら、あなたが求めるよりはるかに、あり余るほど豊かに受けることができるのです。」(“In Heavenly Places” p.71)

約束に基づいて祈るためには、どうすれば良いでしょうか。

例えば、平和について祈り求めるとき、ヨハネによる福音書 14 章 27 節を用いて祈ることができます。「主よ、あなたはこうおっしゃいました。『わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな』。あなたが約束された平和を与えてください。」

その場ですぐに与えられたと感じなくても、主が平和を与えてくださることを感謝しましょう。

■断食(何かを断つ)

10 日間の祈りにおいて、ダニエルの断食をするようにおすすめします。祈りと断食とによって一年を始めることは、わたしたちの一年の歩みを神におさげする上で非常に有益な方法です。

エレン・G・ホワイトは次のように言っています。

「神の民は今も、また最後の時まで、さらに熱心に、さらに目をさまして自分の知恵に頼らず、彼らの指導者であられる神の知恵に頼るべきである。彼らは断食と祈祷のために幾日かを聖別すべきである。完全に食物を断つことは要求されないかもしれないが、最も単純な食物を控え目に食べるべきである。」(『食事と食物に関する勧告』 306 ページ)

わたしたちはダニエルが 10 日の間、果物と野菜だけを食べたことを知っています。同じように、10 日間の祈りにおいて、非常に簡素な食事をするをおすすめします。砂糖、加工食品、精製食品、清涼飲料水などを摂らないようにすると、さまざまな点で利益があります。まず、簡素な食事をするということは、より短い時間で食事を準備することができ、より多くの時間を主と共に過ごすことができるようになることを意味します。次に、食事をより簡素にするということは、より消化がしやすくなるということと、より頭脳が明晰になるということです。

断食とは単に食事を控えるということだけではありません。テレビや映画、ゲーム、また SNS や YouTube などの鑑賞も控えましょう。SNS や YouTube などは、必ずしもそれ自体が悪ではなくても、わたしたちの時間を大幅に奪います。主と共に過ごす時間を確保することができるよう、可能な限りすべての障害から離れましょう。

断食は神様から奇跡を得るための近道ではありません。断食とは、神様がわたしたちのうちに、そしてわたしたちを通して働くことができるように、わたしたち自身を謙虚にすることです。神のみ前にわたしたちをへりくだらせ、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして主を求めましょう。祈りと断食を通して主に近づけば、主はわたしたちを近づけてくださいます。

■聖霊

一人の人のために、あるいは特定の状況において、なにをどのように祈るべきかを教えていただけるよう聖霊に求めましょう。

「わたしたちは、キリストの名によって祈るだけではなくて、聖霊に感じて祈らなければならない。『御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、

わたしたちのためにとりなして下さるからである』と言われているのは、そのことを説明している。このような祈りを神は喜んで聞いてくださるのである(ローマ 8:26)。熱心に力をこめて、キリストの名によって祈るならば、そのような熱心さをもって祈ること自体が、『求めまた思うところのいっさいを、はるかに越えて』、神がわたしたちの祈りに答えようとしておられることの神の保証なのである。」(エペソ 3:20) (『希望への光』 1240 ページ、『キリストの実物教訓』 12章)

■信仰

あかしの書は、このように語っています。

「祈りと信仰はこの世のどんな力もできないことをする。」(『ミニストリー・オブ・ヒーリング新装版』 343 ページ)

また、わたしたちは祈り、神が祈りを聞いておられ、応えてくださるという信仰を持つように励まされています。キリストは「求めなさい。そうすれば、与えられる」と言いました。この聖句の中で、キリストは私たちがどのように祈るべきか指示を与えておられます。私たちは子供のような単純さをもって天の父のもとへ行くのであり、聖霊の賜物を主に求めるのです。イエスはまた言われます「祈りもとめるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる」。あなたは悔い改め、あなたの罪を告白し、罪と汚れの魂を虚しくして父のもとに行くのです。そして主の約束を証明することがあなたの特権なのです……。

■執り成しの祈り

10 日間の祈りを通して、「より豊かな人生」を経験してほしいと思う人のために特別にお祈りすることをおすすめします。

親戚、友人、同僚、近隣の人、あるいは知人等、どのような関わりのある方でも良いでしょう。だれのために祈るよう、主があなたに求めておられるか、それを教えていただく時間をとりましょう。この 7 人に対して真の重荷を感じることができるよう、祈り求めましょう。その人たちの名前を書き留めて、聖書の中のようによく見る場所に置きましょう。名前を書き留めることには大きな力があるので、神様があなたの祈りへの答えとしてどのように応えてくださったかに驚くことでしょう。

■『10日間の祈り』伝道チャレンジ

イエスは私たちに、祈ることだけではなく、身近にいる霊的・肉体的必要を感じている人々のために奉仕するようにともおっしゃいました。「お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。」（マタイ 25:35、36）

10 日間の祈りが終わった後、あなたとあなたの教会はどのように他の人々に手を差し伸べることができるでしょうか？ 祈りのうちに神様に尋ねることをおすすめします。活動の一つ、またはいくつかを選び、日にちを決め、イエスの手足となって働きましょう。企画を進める中で、準備によって祈ることから気がそれないように注意してください。

ミニストリー・オブ・ヒーリング新装版(345 ページ)には「わたしたちは二重の生活をしなければならない。すなわち、思想と行動の生活、黙祷と熱心な働き与生活である」との勧告が与えられています。イエスの愛を他の人に示すことは、わたしたちの特権です。救い主から多くの愛を受けたのですから、その愛を独り占めせずに、他の人と分かち合おうではありませんか。

「他者のための個人的な努力には、それに先立って、より多くの密室の祈りが必要である。なぜなら、それは魂を救うという科学を理解するための知恵を必要とするからである。人と接する前に、キリストと心を通わせなさい。天の恵みのみ座において、人々に奉仕する備えをきなさい。」（"Prayer" p.313）

執筆者について

パベル・ゴイアは、牧師であり講演者。Ministry 誌編集長。彼の牧師としての働きは母国ルーマニアから始まる。パベルと彼の妻ダニエラは、二人の息子とともに米国に移住し、ルーマニア、米国の他多くの教会を霊的に導くことをライフワークに、「祈り」やその他をテーマとした講演を世界中で行っている。

『奇跡を生む祈りの力 神を体験したパベル・ゴイアの物語』（福音社刊）の題材となった『The Pavel Goia Story』の著者であり、他にも多くの記事を執筆している。最近の著書は『In the Spirit and Power』（英文）。

パベルは現在、セブンスデー・アドベンチスト世界総会牧師会副会長を務め、Ministry 誌の編集長も兼任する。愛する妻ダニエラ、二人の息子、四人の孫、そして愛犬とできるだけ多くの時間を過ごすのが好きである。

リバイバルのためのさらなる資料

◆『10 日間の祈り』のリソースは、セブンスデー・アドベンチスト世界総会牧師会によって作成されています。

◆ウェブサイト www.tendaysofprayer.org では、地域社会に伝道するうえで役に立つアイデアのリストを入手できます。（英語）